

成田っ子 通信

～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R 3.12.1 No.13

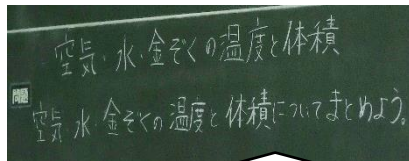
文責 新井麻起

本校では学校研究課題を「個別最適な学び」と「共同的な学び」の一体化を目指した授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践～とし、「一人2回」を合い言葉に校内の研究授業を行っています。今回は 正田 亮平教諭の理科の授業です。

教科：理科 単元名「空気、水、金属の温度と体積」 正田 亮平 教諭

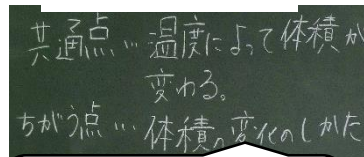
【本時の問題】

この単元は、空気、水、金属の温度と体積の関係を実験を通して学ぶ。本時は空気、水、金属を温めると体積は大きくなるが、その変化の大きい順とその根拠を実験結果から考える授業である。



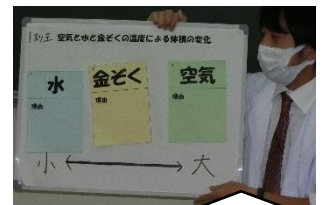
本時も問題である「空気、水、金属の温度と体積についてまとめよう」を示す。

【本時の見通し】



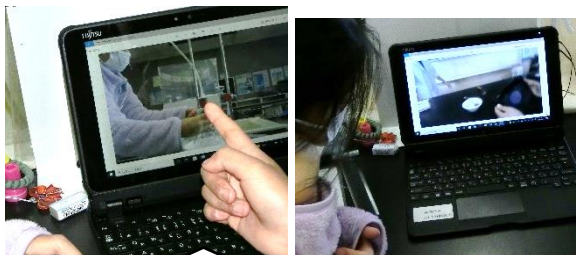
本時は、ちがう点である「体積の変化の仕方」を考えることを伝える。

【班での活動の説明】



班で前に行った実験の様子をタブレットで見ながら変化の大きい順とその理由をホワイトボードに書くよう指示する。

【実験の様子を振り返る】



実験した様子をあらかじめタブレットに撮っておき、それを見直しながら変化の順番やその根拠を考えている。



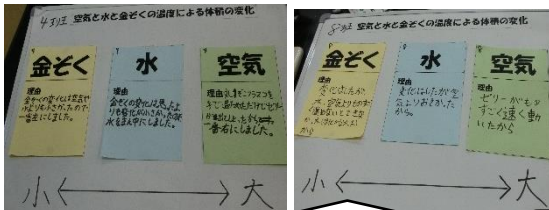
【変化の順番とその根拠】



実験した動画を見ながら、変化の順番やその根拠を話し合い、紙にまとめている。

実験の様子をあらかじめタブレットで撮っておくことで、班での話し合いの際にもう一度実験の様子を見ることができるよう、タブレットを効果的に使っている。

【変化の順番とその根拠】



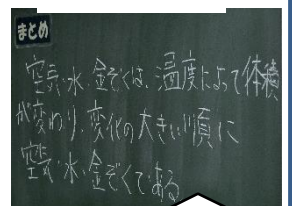
班で話し合い、変化の順とその根拠をホワイトボードにまとめた。C:「変化の大きかった順は、空気、水、金属だね。その理由は・・・」

【各班の発表】



班で話し合い、変化の順とその根拠を説明する。C:「変化の大きい順は空気、水、金属で、その理由は、空気を温めたとき、管の中のゼリーが勢いよく上がりました。水の変化は空気の変化に比べるとそれほど出なく、金属が一番変化が小さく、遅かったからです。」

【まとめ】



空気、水、金属は、温度によって体積が変わり、変化の大きい順に空気、水、金属である。

